

令和6年度 コミュニティ・スクール推進校事業 会議録

会議の名称	枚方市立田口山小学校 学校運営協議会 (第4回)		
開催日時・公開等	令和6年	3月5日 (水)	
会議の公開等	公開	(非公開理由)	
開催事前告知	令和6年	3月3日 (月)	ブログ等で広く地域に周知を行った
開催後議事録等の周知	令和6年	3月21日 (金)	ブログ等で広く地域に周知を行った
出席者	・校区コミュニティ協議会 交通対策協議会 支部長 入江 秀年 氏 ・令和6年度PTA会長 吉村洋史 氏 ・エプロンクラブ代表 市川 洋子 氏 ・関西大学 教育推進部 教職支援センター 丸岡 俊之 氏 事務局:校長・教頭		
欠席者	なし(半数以上の出席なので会議成立)		
案件名	1.令和6年度学校評価について 2.全学級の授業参観		
提出された資料等の名称	資料① …第3回学校運営協議会 レジюме 資料② …令和6年度 本校の取組み及び結果概要について 資料③ …令和6年度学校評価について		

会議内容

<p>1. 開会のことば(校長より)</p> <p>2. 令和6年度 本校の取組み及び結果概要について 別紙:令和6年度本校の取組み及び結果概要について 資料説明</p> <p>3. 令和6年度 学校評価について 別紙:令和6年度 学校評価について 資料説明</p> <p>4. 熟議</p> <p>○学校運営委員からの意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査結果より、基礎基本より資料を活用して表現する等に課題があるとの分析であった。 「個に応じた指導」を推進する中で、子どもの応用力は増していく。 ・運動会や授業参観などで、子どもたちが一生懸命に学習活動等に取り組んでいる姿を多くみることができた。 ・50周年記念行事についても、子どもたちの学習発表の場など、「子どもが主役」の式典が良かった。 ・子どもたちは、登校時の朝の挨拶をよくしてくれるため気持ちが良い。子どもたちを見ると、元気が出る。 ・学校の取り組みとして、視覚情報による整理・発信などは、誰かに分かりやすく伝える上でよい。 子どもたちにも同様のことがいえる。視覚情報は認識しやすい。 ・教室の前方にカーテンを設置し、教室のユニバーサルデザイン化や不登校支援ルーム(ホットルーム)の充実など、学校の取り組みの努力は感じられる。 ・家庭で不要になったソファの提供を呼び掛け不登校支援ルームの環境整備を進めるなど、地域や保護者の方の参画・協力を得て学校をより良くしていく取り組みは大切。 ・子どもの自己肯定感を高めるための「発達支持的生徒指導」の視点は大事。 子どもをほめるのは、結果をほめるのではなく、先生がタイミングを逃さず、その行為について、評価することが大切。 ・「子どもに学びを委ねる」という言葉は、大切な言葉である。 学ぶ環境・場を設定することにより、子どもの主体的な学びにつながる。 ・「フードロス」など、社会的な課題への取り組みは大切。 フードロスのチラシを置いた活動・行為のフィードバックがあるとなおよい。 例えばQRコードなども併せて置かせていただき、お客さんからアンケートを取るなど。 ・「教育」は短時間で結果がでるものではない。地道な取組み、努力を積み重ねていくことが大切。
